

【 避難所における食物アレルギー対応について 】

1 避難所受入時の対応

① 避難者の受付

避難者名簿は世帯ごとに記載してもらいます。その際、アレルギーや障害等について確認し、「特別な配慮が必要な方」の欄に記載してもらいます。

■ 要支援者の確認漏れを防止するための案内の掲示

体育館内に「支援が必要な方は必ず受付に申し出るよう」掲示しましょう。
 ・ライティングシート（簡易ホワイトボード）を利用してください。

■ 子どもだけで避難してきた場合

子どもだけで避難してきた場合には、必ず口頭で特別な支援が必要か否か確認しましょう。（アレルギーの有無、ふだん薬等を飲んでいるかなど）

② ビブスの配布（詳細は「2 食物アレルギー用ビブスの配布」を参照）

受付時にビブス等を配布します。なお、受付が混雑する災害発生直後など、個別に対応するのが難しい場合には、別途配布します。ハンドマイクや掲示などを利用し、「時間と場所を指定し、案内」するようにしましょう。

【資機材】

避難者名簿（備蓄コンテナ内の袖机に備蓄されています。）

【様式4】

避難者名簿

避難施設名：鎌倉市立第一小学校

入所年月日	年	月	日	住所 電話番号
世帯主				〒 () -
家族（ここに避難した人だけ記入）			男・女	家屋の被害状況 ◆ 全壊・半壊・一部破壊 ◆ 断水・停電・ガス停止
			男・女	
			男・女	親族などの連絡先 〒 () -
			男・女	
		男・女	家族の避難・連絡状況など 避難・安否情報	
		男・女		
家族の中で特別な配慮を必要とする方がいる場合、記入してください。				ペットの状況等
安否確認等の問い合わせがあった場合、住所及び氏名を公表してもよいですか。				◆ ペットの種類・数
				◆ 同行・置きり・行方不明 ◆ その他
				よい・よくない
退所年月日	年	月	日	
転出先	〒			
電話				
その他				

※ 内容に変更がある場合は、速やかに管理係に問い合わせ修正してください。

この欄を確認する

2 食物アレルギー用ビブスの配布

① ビブス（ベスト）の配布

食物アレルギーの方にビブスを配布します。

食物アレルギーの方は外見からはわかりません。誤った食品を提供しないため、必ず着用してもらってください。

なお、本人が着用を拒否するような場合には、要支援者テープ（カラーテープ）で代用することもできます。

② 本人（家族）への案内

避難所で配布する食事のほか、避難者同士で食物を分け合うことも考えられます。本人から周囲の方に対してアレルギーがあることを伝えてもらってください。

ビブス等を付けていても、「**食品の配布時には本人からアレルギーがあることを申し出る**」よう伝えてください。

【資機材】

- ・食物アレルギー対策用ビブス（10枚／避難所当たり）
- ・カラーテープ（黄色・ピンク各1巻／避難所当たり）

アレルギーの方には**黄色のテープ**を利用してもらいます。「マジックで食物アレルギー」と記載し、袖口等に貼ります。ピンクのテープは手話通訳等、支援者が利用するものです。



食物アレルギー用ビブス



要支援者（要配慮者）・支援者テープ

※ アドレナリン自己注射薬（エピペン等のアナフィラキシー補助治療剤）をお持ちの場合には、万一の際に備え、すぐに使用できる準備をしておいてもらってください。（食事の際は必ず携帯しておくなど）

3 食品の配布

① 食品の配布

個食の「きのこごはん」又は「野菜がゆ」を配布します。アルファ米の作成を始める段階で、アレルギー対応が必要な方に配布します。（その際、お湯又は水を入れる。）

※ 配布時の注意点

誤ってアレルギー非対応の食事が配布されないよう、配布を担当する方にビブスやテープの確認を徹底してください。

※子どもへの声かけ

お子さんには、ビブスを付けていない場合にも声かけをするなどの配慮をお願いします。

② 本人（家族）による食事の用意

自分で用意している食品があれば優先して利用してもらいます。

炊き出し、物資配布等に参加してもらうことも検討してください。

■ アレルギー対応粉ミルクについて

アレルギー対応粉ミルクは、避難所には備蓄されていません。アレルギー対応が必要な乳幼児が避難してきた際には、**災害対策本部に依頼**してください。（できるだけ早めの依頼をお願いします。）

【資機材】

- ・きのこごはん（アレルギー27品目不使用）
個食式（50食／避難所当たり）
- ・野菜がゆ（アレルギー27品目不使用）
個食式（50食／避難所当たり）
- ・アルファ米わかめごはん（アレルギー25品目不使用）
箱単位（数量は避難所による） ※50食一度に作るタイプです。
- ・アレルギー対応粉ミルク
※たづくり倉庫に備蓄。避難所には備蓄していません。

わかめごはんの利用について

50食を一度に作成するアルファ米のうち、「わかめごはん」はアレルギー対応食品です。「わかめごはん」だけを作成することで、アレルギーの方へも一度に配布することができます。**災害発生直後の混乱しているときには、わかめごはんを使うことで、誤食を避けることが可能です。**

【 嚥下障害のある方への対応について 】

1 嚥下障害とは

嚥下障害（えんげしょうがい）とは、種々の原因によって嚥下（ものを飲み込む）の機能が損なわれることです。この障害がある方は、アレルギーの方と同様に食事などに係る支援が必要となります。嚥下障害のある方は固形物が食べられないだけでなく、**ふつうの水が飲めない場合があります**。

この障害に対応するには、水にとろみをつけたり、食べ物を柔らかくする必要があります。

2 嚥下障害への対応

① 水を飲むために

とろみ調整食品「つるりんこ」を配布してください。

とろみ剤は、飲みものなどに加えてかき混ぜるだけで、手間をかけずに簡単にトロミをつけられます。嚥下障害の方が水を飲むときに使用します。

② 食事の配布

食事は基本的に固形物を使用していない「**玄米がゆ**」を配布してください。

■ 食事の際の注意点

嚥下障害の方は、普通に作った「**お粥も食べられない**」ことがあります。

水分量を増やすなどの対応が必要になる場合がありますので、ご本人や家族と相談してください。

【資機材】

- ・つるりんこ Quickly（とろみ剤）（100本／避難所当たり）
- ・玄米がゆ 個食式（50食／避難所当たり）



つるりんこ Quickly（とろみ剤）